

## 京都府立大学の学部学科の改編について

学長 竹葉 剛



京都府立大学は、その前身の創立（1895年）から数えて、今年で112年になります。これまでは、文・家政・農の流れをくむ学部構成でしたが、2008（平成20）年度から、京都府立の公立大学としてさらに発展するために、学部構成を、文学部、公共政策学部、生命環境学部と、人文科学、社会科学、自然科学を基礎とする学問分野に、それぞれ改編することになりました。

文学部は、日本・中国文学科、欧米言語文化学科、歴史学科の3学科となります。これまでの国際文化学科の教育理念・内容は文学部全体に受け継がれます。3学科とも、京都を中心に国際的な視点から教育研究が行われます。学科横断的な「京都文化学コース」では、京都の文化・歴史が幅広く学べます。

公共政策学部は、わが国で初めての学部名称で、福祉社会学科と公共政策学科との2学科構成です。福祉社会学科は従来の福祉社会学部のカリキュラムを受け継ぎ、社会福祉、人間形成を中心として教育研究が行われます。公共政策学科は、法律・経済・政策・政治などの分野を含む新しい学科です。政策の現場で生きた法律学・経済学・政策科学が学べます。

生命環境学部は、人間環境学部と農学部とが統合してできた新しい学部で、6学科構成です。生命分子化学科は、生命科学と物質科学とを融合した新しい学科です。農学生命科学科は、植物生産科学コースと生物機能科学コースとがあり、従来の生物生産科学科よりも、基礎分野が強化されました。食保健学科、森林科学科は従来の教育内容を引き継ぎます。環境デザイン学科はこれまでの2専攻を発展的に統合して、一つの学科として教育研究を充実させます。環境情報学科は、環境・情報科学科に名称を変更します。

学部学科の改編と合わせて、本学は府立医科大学と共に公立大学法人へ移行します（1法人2大学）。また、京都工芸繊維大学とは「3大学連携」により、教養教育の共同化、専門教育・研究面の連携が進められます。3大学間の学生の交流も進む予定です。

本学は、今回の改革を機に、府民・地域社会が抱える様々な課題に対応するため、総合的・先進的な教育研究を推進し、京都府立の公立大学として、さらに発展していきます。ご期待ください。

### 目次

学長挨拶	1	物理・数学	15
入試特集号発行にあたって		研究室へようこそ	16
本号の構成と利用ガイド	2	在学生の声	17
学部学科別入試概要		府大生の経済生活について	18
文学部	3	クラブ・サークル紹介	19
公共政策学部	6	就職支援活動紹介	20
生命環境学部	8	卒業生の声	21
入試科目別アドバイス		追悼 京都府立大学元学長 門脇禎二先生	23
英語・国語	12	教員奮闘記	24
日本史・世界史	13	編集後記	24
生物・化学	14		

# 入試特集号発行に当たって

京都府立大学広報委員会

平成20年度より、京都府立大学は時代のニーズに応え、大きく変わります。現在の人間環境学部と農学部が統合され、生命環境学部、また、福祉社会学部は公共政策学科を加え、公共政策学部、文学部も学科の再編が行われます。

受験生の皆様の中には入試に不安を感じておられる方も多いことと思います。この冊子は受験特集号として、少しでも皆様の不安を和らげ、お役に立てることを念頭におき、全学部学科の教職員がアイデアを絞って編集してあります。

新しく生まれ変わろうとしている学部・学科がどのような学生を育てようとしているのか、また受験生の皆様にとっては、どのような受験の機会があり、入試科目はどうなっているのか、併せて入学試験の出題のポイントまでを、わかりやすくまとめました。

さらに、キャンパスライフについても、教員、在学生の声、卒業生の声などを通じて感じていただけるように工夫してあります。ぜひ、最後のページまで読んでみてください。

## 本号の構成と利用ガイド

本号は、入試に関する部分と、それ以外の関連記事の2つの部分から構成されています。

**注** 試験科目に関する記事は予想問題ではありません。あくまで参考資料としてご利用ください。

## 入試関係の情報

入試情報は、学部・学科ごとに表に入試概要をまとめてあります。また、一般選抜で本学独自で実施する試験科目の概要も示しています。しかし、学部・学科によって配点等が異なる場合がありますので、その点は注意をしてください。

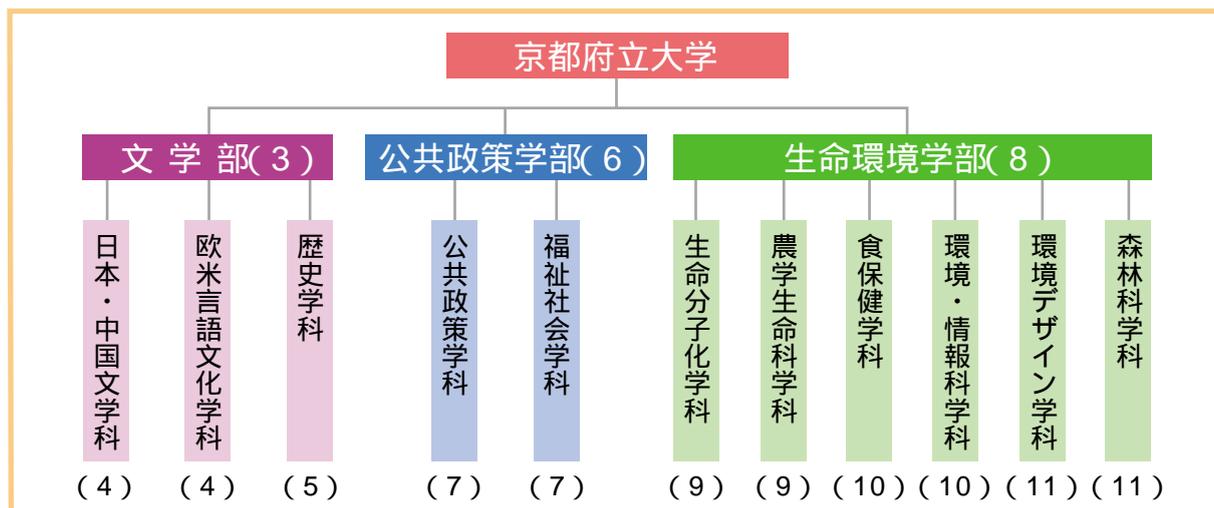
## 大学生生活

大学に入学したあとの学生生活について、どのような研究室があるのかを研究室紹介としてその担当の教員が紹介しています。また、学生生活にどれくらいのお金が必要なのか、アルバイトはできるのかなど、みなさんにとって一番気になることを、在学生の生の声として載せました。がんばっているクラブの紹介や就職状況、卒業生の活躍なども紹介しています。

京都府立大学でのキャンパスライフに一足早く、触れてみてください。

なお、入試に関する詳細は、必ず「選抜要項」で確認するようにしてください。

各学部・学科の詳細は下図の該当ページへ！



## 文学部

### 文学部の教育の理念・目標

文学部は、人間の文化的・社会的営為に関する人類の叢智を継承し、ことばと文学、歴史と文化遺産にかかわる専門領域を深く教育・研究するとともに、現代社会・地域社会が提起する諸課題にこたえるために、知の拠点として、つねに新たな教育・研究領域を開拓することをめざしています。またそのたえざる探求と教育とをつうじて、はば広い教養を備えるとともに、豊かな人間性と高度な専門性、および総合的な視野を養うことにより、地域文化・地域課題をにない、また国際化社会にも貢献しうる有為な人材を育成することをめざしています。

### 日本・中国文学科

千年のみやこ京都で日本文学・  
日本語学・中国文学を究めよう!

日本・中国文学科では、日本文学・日本語学・中国文学について学ぶことができます。どれか一つに限定することなく、三分野すべてについて本格的な知識を身につけることができる上に、和漢比較文学のような複数の分野にまたがる科目も設けられていますから、自分が特に学びたいことについて研究を進めるにあたって、多角的な視点を持って考えることができます。またネイティブ・スピーカーによる中国語会話の授業も設けられています。授業は少人数のものが中心で、一人一人の個性まで把握した丁寧な指導を受けることができます。



### 欧米言語文化学科

言葉をとおして異文化理解!

欧米言語文化学科ではイギリス・アメリカ・ドイツ言語文化、英語学、日英翻訳文化を中心に学ぶことができます。フランス言語文化の講義もあります。言語・文学・マスメディア・映画などの言語テキストを題材として、過去から現在までの欧米文化理解を深めます。また京都にある大学という地の利を活かして、日本文化との比較研究を行います。ネイティブ・スピーカーによる英語・ドイツ語の実習もあります。様々な分野の授業を取って視野を広げた上で、卒業論文作成の時に各自が専攻分野を決めることができます。専門科目は少人数の授業ですので、丁寧な指導が受けられます。語学や言語文化に意欲的に取り組みたい人に最適です。

### 歴史学科

京の都で歴史を堪能しましょう

京都という歴史的遺産に恵まれた地域性を活かして、古代から近現代に至る日本史・日本文化史を中心に、中国をはじめとする東洋史・東洋文化史、ヨーロッパを主とした西洋史・西洋文化史、歴史遺産の保存・活用を考古学や歴史地理学、歴史情報の方法を用いて考える文化遺産学の4コースから構成されます。コースは学習のためのまとまりで、最初は各コースに分けずに広くグローバルに歴史と文化を学び、卒業論文作成に向けて少人数の各演習で学ぶ中で、各自の専攻分野を決めていきます。

## 日本・中国文学科

定 員	一般入試		推薦入試
	前期 20	後期 4	6 (府内枠)
求める 学生像	言語や文学に対して強い関心と幅広い視野を持つ人 人間や社会に対しても幅広く目を向けている人 自ら問題を発見し、解決しようとする力を備えている人 文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを備えた人		
合否判定	センター試験(500点)と2次試験(700点:国語300点、歴史200点、外国語200点)との総合点による判定	センター試験(500点)と2次試験(国語300点)の総合点による判定	推薦書、調査書、国語及び英語の試験成績による総合判定
判定の 特徴	日本・中国文学科で提供している教材を理解し、研究を遂行するための基礎学力となる読解力・記憶力・語学力と、思考力・論理性を的確に表現できる日本語の運用能力とを中心に判定している。		日本語学・日本文学・中国文学それぞれの分野とともに、三分野の関連性をも重視した教育を行っている。その基礎学力となる読解力・記憶力・語学力と、思考力・論理性を的確に表現できる日本語の運用能力とを中心に判定している。

## 欧米言語文化学科

定 員	一般入試		推薦入試	AO入試
	前期 18	後期 4	6 (府内枠)	2 (府内枠)
求める 学生像	過去から現代に至る欧米の文化と日本文化に強い関心を持ち、日本語と外国語の優れた言語能力を備えた人 言語文化研究に適した、人間と社会に対する深い関心と多角的な視野を持つ人 外国語・日本語を問わず、言葉の仕組み、機能に関心のある人 言葉の力や人類が培ってきた様々な思想を理解するための共感能力、柔軟な思考力と問題把握能力を持つ人 言葉や文化について自ら見出した問題を論理的に考え、表現する能力を備えた人			
合否判定	センター試験(500点)と2次試験(700点:国語200点、歴史200点、英語300点)の総合点による判定	センター試験(350点)と2次試験(英語300点)の総合点による判定	推薦書、調査書、英語および小論文の試験成績による総合判定。小論文は日本語の文章を読んで日本語で答える問題	自己推薦書、調査書、小論文および面接による総合判定。小論文は英語の文章を読んで日本語で答える問題
判定の 特徴	以下の諸点を判定する。 ・日本語と外国語の言語能力 ・人間と社会に対する理解 ・柔軟な思考力と問題把握能力	以下の諸点を判定する ・日本語と英語の言語能力、特に英語の能力を重視する ・人間と社会に対する理解 ・柔軟な思考力と問題把握能力	以下の諸点を判定する。 ・入学意欲と適性 ・日本語と英語の言語能力 ・人間と社会に対する理解 ・様々な思想を理解するための共感能力 ・柔軟な思考力と問題把握能力 ・論理的に考え、表現する能力	調査書と自己推薦書によって入学意欲と適性を判定。さらに小論文と面接によって、以下の諸点を判定する。 ・日本語と英語の言語能力 ・人間と社会に対する関心と視野の広さ ・様々な思想を理解するための共感能力 ・柔軟な思考力と問題把握能力 ・論理的に考え、表現する能力

## 歴史学科

定員	一般入試		推薦入試	AO入試
	前期 25	後期 7	6（府内枠）	2（府内枠）
求める学生像	歴史に対して強い関心を持ち、人類のさまざまな社会的・文化的活動に広く関心を持つ人 歴史の研究の基礎となる史料や文献の読解に根気強く取り組める人 自ら見いだした課題を論理的に把握・整理し、自分の考えを的確に表現できる人 人類の様々な文化遺産に対して広く関心を持ち、その保存と活用を通して社会に貢献したい人			
合否判定	センター試験(600点)と2次試験(700点:外国語200点、国語200点、歴史300点)の総合点による判定	センター試験(600点)と2次試験(歴史200点)の総合点による判定	推薦書、調査書、英語および小論文の試験成績による総合判定	自己推薦書、調査書、レポート、面接および英語の試験成績による総合判定
判定の特徴	センター試験、2次試験などにより、学科の求める基礎学力を判定します。 史料や文献の読解に必要な能力を外国語・国語の試験を中心に、また歴史への関心と課題発見・表現の力を歴史の試験を中心に判定します。		推薦書・調査書により、歴史や文化遺産への関心・意欲・適性などをみます。 英語・小論文の試験により史料や文献の読解に必要な能力、歴史への課題発見・表現の力を判定します。	自己推薦書、調査書、レポート、面接により、歴史や文化遺産への関心・意欲・適性、課題発見・表現の力を総合的に判定します。 英語の試験により史料や文献の読解に必要な能力および歴史への関心を判定します。

文学部で取得できる資格 注) 学科により異なります。申請予定のものもあります。

(取得資格)

- ・教員免許
  - 中学校一種 国語
  - 英語
  - 社会
  - 歴史
  - 高校一種 国語
  - 英語
  - 地理歴史
- ・学芸員

## 公共政策学部

### 公共政策学部の教育の理念・目標

公共政策学部は、社会科学系と福祉系・人間系の2つの学科から構成されています。生涯にわたる人間発達を多様に実現する社会（福祉社会）を、個人、NPO、地域コミュニティ、企業、行政などが協働して築くために、より高い政策立案能力や問題発見・解決能力を持った人材、地域における福祉や地域力の担い手を養成していきます。

### 公共政策学科

法学 + 経済学 + 政治学

政策をつくるのはあなたです！

住み良い地域や社会を作ろうという国や地方の公務員、NPO・NGO、社会貢献を行う民間企業で働く人材を養成します。未来志向型の「公共政策」を切りひらきます。

教育課程としては、

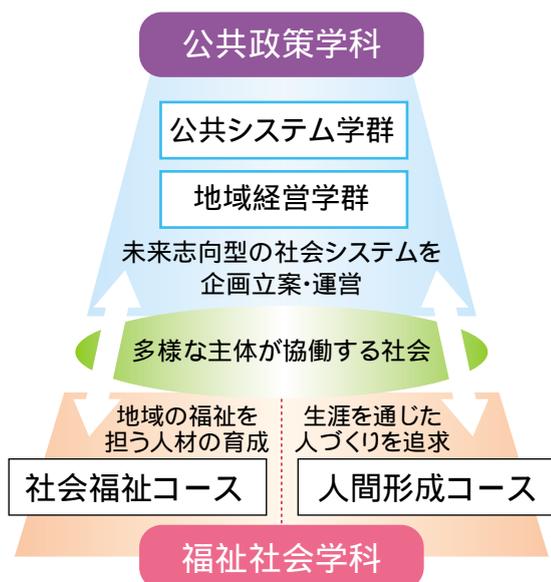
「公共政策」の基礎となる経済学、法律学、政治学など基本的な学問をしっかりと身につける、

1回生から4回生に至るまで充実した演習科目を配置し、対話・討論する力などいろいろな人々との協働を創り上げる力を身につける、

京都府や市町村、経済界、NPOなどと連携した実習機会を設け、地域に学び、地域に活かす生きた政策立案と政策運営の力を身につける、

という特徴があります。

### 福祉社会をめざし公共政策を拓く



### 福祉社会学科

福祉学 + 社会学・心理学・教育学  
広く深く学ぶなら本学で！

福祉や医療の現場で働くソーシャルワーカー、家庭裁判所調査官・法務教官などの国家公務員をはじめ、自治体や民間の福祉・生涯学習・教育・相談援助の仕事に就く人材を養成します。

履修コースとしては社会福祉コースと人間形成コースがあります。

社会福祉コースでは、従来どおり社会福祉士の受験資格取得に必要な授業科目を中心に幅広く学び、地域福祉活動をリード・援助する力を身につけます。さらに、精神保健福祉士の受験資格が得られる課程（定員8名）も設けて充実を図ります。

人間形成コースでは、社会学・心理学・教育学の各専門分野から編成された、子ども・青少年・地域住民の発達と社会化、そして主体形成に重点をおく系統的な授業科目を学びます。

## 公共政策学科

定員	一般入試		推薦入試	AO入試
	前期 30	後期 8	10（府内枠）	2（全国枠）
求める学生像	社会の発展と現代社会の制度・政策的課題の解明に強い関心を持つ人 人間の発達と政策形成の課題の解明に強い関心を持つ人 よりよい地域社会を築くために積極的に貢献したいと考える人			
合否判定	センター試験(600点)と2次試験(400点=外国語200+国語200)の総合点による判定	センター試験(600点)と2次試験(400点=小論文400)の総合点による判定	推薦書、調査書及び小論文の試験成績による総合判定	調査書及びテーマ作文による予備選考の合格者に対し、レポート作成及び集団討論・面接による総合判定
判定の特徴	高等学校での基礎的諸教科(国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科)をバランスよく学習し、十分な学力を有していることを評価する。	左記の基礎的諸教科についての十分な学力に加えて、読解力・文章表現力・論理的思考力・要約力などを小論文を通じて評価する。	高等学校での学習の成果や活動の状況に加えて、読解力・文章表現力・論理的思考力・要約力などを小論文を通じて評価する。	テーマ作文による課題展開能力や文章表現力の評価をふまえて、社会的事象に対する観察力や自分の意見を整理して表現する力を重視する。

## 福祉社会学科

定員	一般入試		推薦入試	AO入試
	前期 30	後期 8	10（府内枠）	2（全国枠）
求める学生像	人間の福祉と社会連帯のあり方に実践的な関心を持つ人 人間の発達と行動、教育と社会形成の課題の解明に強い関心を持つ人 地域と社会の現実的問題の解決に実践的に取り組んでいきたいと考える人			
合否判定	センター試験(600点)と2次試験(400点=外国語200+国語200)の総合点による判定	センター試験(600点)と2次試験(400点=小論文400)の総合点による判定	推薦書、調査書及び小論文の試験成績による総合判定	調査書及びテーマ作文による予備選考の合格者に対し、レポート作成及び集団討論・面接による総合判定
判定の特徴	高等学校での基礎的諸教科(国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科)をバランスよく学習し、十分な学力を有していることを評価する。	左記の基礎的諸教科についての十分な学力に加えて、読解力・文章表現力・論理的思考力・要約力などを小論文を通じて評価する。	高等学校での学習の成果や活動の状況に加えて、読解力・文章表現力・論理的思考力・要約力などを小論文を通じて評価する。	テーマ作文による課題展開能力や文章表現力の評価をふまえて、社会的事象に対する観察力や自分の意見を整理して表現する力を重視する。

公共政策学部で取得できる資格 注) この資格は福祉社会学科に限りません。申請予定のものもあります。

(取得資格)

- ・教員免許 中学校一種 社会  
                  高校一種 公民  
  福祉
- ・認定心理士

(受験資格)

- ・社会福祉士
- ・精神保健福祉士（定員8名）

## 生命環境学部

### 生命環境学部の教育の理念・目標

生命分子から人間環境さらに森林自然環境まで

京都府立大学には、これまで理系の職業人（技術者、研究者）養成を目標とする学部として人間環境学部と農学部が設置されていましたが、近年の急速な科学の発展と社会情勢の変化に伴って、両学部が対象とする学問分野の関連性が一層強くなってきました。そのため、両学部を統合し一部学科を再編して、新たに生命環境学部を設置しました。この学部構造改革によって、より体系的・先進的な教育研究体制を構築することができました。

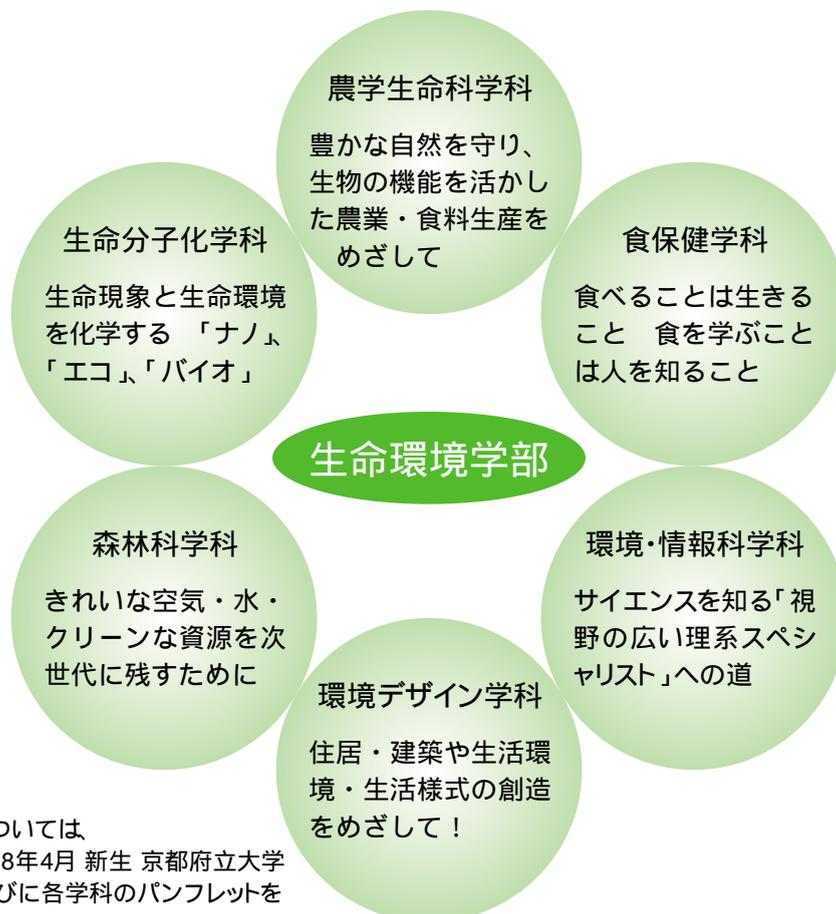
新設の生命環境学部は、生命分子化学科、農学生命科学科、食保健学科、環境・情報科学科、環境デザイン学科、森林科学科の6学科で構成されます。

生命と環境を広く深く学べるシステムが整備された学部4年間の充実した教育

生命環境学部のこれらの学科では、生命現象・生体機能の解明とその応用、食料の持続的生産と効率の利用ならびにその安全性や食育について多面的な視点から学びます。また、健康的・文化的な生活を支える住まいと建築、都市と地域、さらに森林から地球環境までその仕組みを理解し情報化してよりよい環境を作り上げるための知識と技術を身につけます。

求める学生像

1. 理科や創造的な科目に興味を持ち、生命や環境に係わる科学分野に好奇心が旺盛で、強い向学心・探求心を持っている人
2. 将来、生命科学や環境に関連する分野の技術者や研究者として社会の第一線で活躍したい人
3. ものごとを論理的に考え、表現することができる人
4. そして何より、入学後の厳しい学力評価に耐えうる心構えのある人



各学科の詳細については、リーフレット「2008年4月 新生 京都府立大学 スタート！」ならびに各学科のパンフレットをご覧ください。

## 生命分子化学科

定員	一般入試		推薦入試
	前期 20	後期 5	6（府内枠3、全国枠3）
求める学生像	<p>化学をはじめとする理科に強い興味があり、論理的で、自主性と創造力に富んだ、人間性豊かな人            生命、環境、食糧などに関わる科学領域に好奇心が旺盛で、将来、新規な生命分子の構造や機能の解明に関わる基礎研究や、有用な生命化学物質の開発・応用・生産をめざす分野で活躍を希望する人            入学後も一層の勉学意欲と向上心を持ち続け、厳しい学力評価に耐えうる心構えのある人</p>		
合否判定	センター試験(900点:国語200、社会100、数学200、理科200、外国語200)と2次試験(800点:数学200、理科400、外国語200)の総合による判定	センター試験(1000点:国語200、数学300、理科300、外国語200)	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題(高等学校の英語、理科、数学についての理解力、思考力を見る)の試験成績による総合判定
判定の特徴	<p>本学科における学習や研究を遂行するための基礎学力を判定する。</p> <p>生命分子化学科では、「化学」に重点をおいて幅広い生命科学の教育を行う。そのため、「成績優秀な者で、化学、を履修している者」を推薦の条件としている。</p>		

## 農学生命科学科

定員	一般入試		推薦入試
	前期 28	後期 6	14（*府内枠7、*全国枠7）
求める学生像	<p>生物および自然に関心をもち、自然環境を活かした食料生産と生物機能の開発について基本的な知識と技術の習得に熱意をもつ人            農業並びにその関連産業の発展に広い視野からアプローチするための好奇心と意欲をもつ人            大学院等へ進学し専門性を高め、それを活かして地域への貢献や国際的な活躍を志向する人</p>		
合否判定	センター試験(900点)と2次試験(500点:理科300、外国語200)の総合点による判定	センター試験(600点:数学200、理科200、外国語200)の総合点による判定	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題(高等学校の英語、理科、数学についての理解力、思考力を見る)の試験成績による総合判定
判定の特徴	<p>農学生命科学科では自然科学を基礎として教育を行うために、特に理科を高く配点している。</p> <p>基礎能力とともに、将来、農業並びにその関連産業への進路を考えた強い意志と情熱をもつ人を総合して判定する。</p>		

注) \*は特別枠1を含む。農業・食品分野の専門教育に関する高等学校(学科)卒業見込の者であって、専門分野をさらに発展させたいというチャレンジ精神を持つ者を対象。詳細は学務課入試係までお問い合わせください。(電話:075-703-5144)

## 食保健学科

	一般入試	推薦入試	AO入試
定員	前期 18	5（府内枠）	2（府内枠）
求める学生像	<p>「食」に深い関心をもち、その課題発見と解決に寄与する意欲のある人  「食」を通じて、日本と世界の人々の健康の保持・増進に貢献できる人  「食」を多面的・総合的に把握しようとする人</p>		
合否判定	センター試験(700点)と2次試験(300点:理科200、外国語100)の総合点による判定	推薦書・調査書・面接および小論文の試験成績による総合判定	自己推薦書・調査書・面接および小論文の試験成績による総合判定
判定の特徴	<p>食保健学科は理系の学科であり、かつ管理栄養士養成を行っている。  従って、学科で提供している様々な理系の教科や研究遂行のための基礎学力を判定している。</p>	<p>管理栄養士は、人を対象とした仕事である。  ここでは、「食」に関する小論文を課し、論文を読み解く力と受験者の「食」に関する問題意識をみている。  また面接により、勉学意欲と管理栄養士としての適正を判断している。</p>	<p>自己推薦書により、受験者の当学科への入学意欲と「食」に対する熱き思いをみている。  「食」に関する小論文を課し、論文を読み解く力と、受験者の「食」に関する問題意識をみている。  また面接により、勉学意欲と管理栄養士としての適正を判断している。</p>

## 環境・情報科学科

	一般入試	推薦入試
定員	前期 20	5（府内枠）
求める学生像	<p>理系分野で世界に通用する専門家となるためには、まず好奇心と論理的思考力と表現力が必要である。各理系科目を暗記ではなく理解して、自分の言葉でその内容を語る能力があるかを重要視する。柔軟な発想のもとに思考する創造性豊かな人や社会に役立つ物質の創成、新しい技術の開発に夢をもっている人を、ポテンシャルが高い人と考えている。そして、先端科学技術を人々の生活の向上に生かそうという気概をもつ人を求めている。</p>	
合否判定	センター試験(600点)と2次試験(800点:数学400、理科400)の総合点による判定	推薦書・調査書・面接および小論文の試験成績による総合判定
判定の特徴	<p>数学と理科の理解力に判定の重点をおいている。このため、数学と理科のみで行う2次試験の配点を高くし、かつ、総合点に占める数学と理科の合計点の割合を71%としている。なお、総合点に占める英語、数学、理科の合計点の割合が86%と高いのも特徴である。</p>	<p>面接および小論文では、主に論理的思考力と表現力を試験している。好奇心および創造性についても、判定材料に含められるよう小論文の問題および面接時の質問内容を工夫している。将来のビジョンが明確であるか、意欲的な態度であるかも判定で考慮している。調査書も判定に含めている。推薦書については、面接の際に参照する形で間接的に判定において考慮している。</p>

## 環境デザイン学科

定員	一般入試		推薦入試
	前期 25	後期 5	10（府内枠）
求める学生像	住まい・都市・地域、生活用品のデザインについて、生活者の立場に立って科学的に追究する意欲のある人 住居学・建築学に加えて、ランドスケープ、プロダクト、アパレル等にも関心のある人 自然に関心があり、人類と自然の共生について興味のある人 物事を科学的に分析する能力を持ち、事柄を総合化して設計し表現することに意欲的に取り組める人 大学生としての自覚を持ち、主体的に学び、研究する意欲にあふれた人 京都府の自然・歴史・文化に興味のある人		
合否判定	センター試験(600点)と2次試験(200点:理科100、外国語100)の総合点による判定	センター試験(600点)と2次試験(200点:美術(実技))の総合点による判定	推薦書・調査書・志望理由書・面接および小論文の試験成績による総合判定
判定の特徴	入学後の教養・専門科目の習得に必要な基礎的学力の判定を行う。 2次試験における英語は理系・文系に共通する基礎科目として、理科は、専門教育における自然科学系科目における基礎的な素養として設定している。	センター試験により、基礎的な学力を判定する。 2次試験では、デッサン力や絵画力などの美術的素養よりも、本学科の専門性に関連して必要となる基本的な空間の把握力、構成力、表現力の評価を行う。	志望理由書により、意欲や抱負、特記すべき点などを重視し、評価する。 小論文では、論理的思考能力、文章による表現能力、文章の書き方に関する能力をみる。また面接により、専門に関する興味や学習意欲等について調べる。

## 森林科学科

定員	一般入試		推薦入試
	前期 20	後期 6	9（*府内枠6、全国枠3）
求める学生像	自然や科学に対する興味と探究心を持ち、森林に関する課題を積極的に学ぼうとする人 そのために必要な基礎学力と知識を持つだけでなく、論理的な思考ができ、さらには広く社会の状況を把握できる人 学んだ知識を生かし、森林が関係するさまざまな分野において、産業の発展、地域貢献、さらに国際的な視野に立った活躍を目指す人		
合否判定	センター試験(900点)と2次試験(500点:理科300、外国語200)の得点による総合判定	センター試験(900点:国語200、地歴・公民100、数学200、理科200、外国語200)	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題(高等学校の英語、理科、数学について理解力、思考力を見る)の試験成績による総合判定
判定の特徴	高等学校での基礎的教科についての幅広い学力と、自然科学の理解を深め、研究を行うために必要な理系科目及び外国語の学力を重視した判定をする。		自然科学を学ぶために必要な基礎学力、論理的な思考力、自然、森林に対する興味と探究心ならびに社会状況を把握する力を判定する。

注) \*は特別枠1を含む。森林・環境分野の専門教育に関する高等学校(学科)卒業見込の者であって、専門分野をさらに発展させたいというチャレンジ精神を持つ者を対象。詳細は学務課入試係までお問い合わせください。(電話:075-703-5144)

生命環境学部で取得できる資格 注)学科により異なります。申請予定のものもあります。

(取得資格)

- ・教員免許 中学校一種：理科、家庭  
 高校一種：理科、家庭、情報、農業  
 その他一種：栄養教諭
- ・栄養士、食品衛生管理者及び食品衛生監視員
- ・樹木医補、森林情報士2級
- ・学芸員

(受験資格)

- ・管理栄養士
- ・一級建築士(要実務資格)
- ・二級建築士
- ・危険物取扱者(甲種)

# 入試科目別 アドバイス

## 一般選抜二次試験

昨年度の入試問題出題者から受験生の皆さんに向けてのコメントを、主な入試科目別に集めました。出題の形式をはじめ、受験生の皆さんに気をつけていただきたいことなどを解説していますので、参考にしてください。

以下の文章は主として昨年度までの問題について書かれています。今年度の予想問題ではありませんので注意してください。

## 英 語

文学部

公共政策学部

生命環境学部

環境・情報科学科は除く

一般入試二次試験(前期日程)の英語は全学共通の問題を出しています。大学でどの分野を学ぶにも必要な基本的な語学力を見たいからです。ですから特別難しい問題を出していません。高等学校レベルの勉強をきちんとしていれば解ける問題です。

形式としては記述式の問題中心で、全文または部分和訳および内容把握の英文問題が3題程度、和文英訳の問題が1題です。

和訳、内容把握の問題では、構文を理解し、文脈の中での単語の意味を的確に読み取り、内容を考えて正確に理解する習慣を身につけてください。そのために文法の勉強は欠かせません。英作文では、日本語をそのまま英語に置き換えても英語になりません。英語らしい英文を書くように心がけてください。正しい綴りで書くことが求められるのは言うまでもありません。

どの問題も、小手先の試験対策で解ける問題ではありません。真の学力をつけるよう日頃の勉強を積み上げてください。日頃から英文をたくさん読むことが大切です。

また日本語、英語ともに字は丁寧かつ正確に、伝えたい内容が読み手に分かるように書いてください。

## 国 語

文学部

公共政策学部

国語はすべての学習・研究の基本となる科目です。大学で学ぶためには、言語を理解する力と表現する力を十分に身につけていることが欠かせません。まず、表現されている内容を論理の道筋をたどってきっちりと理解し、自分の言葉で表現できねばなりません。「現代文」の問題は、この最も重要な力を見るためのものです。問題文の内容について、筆者の使用している言葉の意味をきちんと理解した上で、文脈をとらえられているかどうかを問う設問が多いのはこのためです。その際、問題文の言葉をそのまま使うのではなく、自分自身の言葉で的確に表現できるようにしてください。借り物の言葉しか使えないのでは、理解していることにはなりません。

「古文」では、文章の筋道や物語の展開などを把握するために、省略されがちな動作の主体や、代名詞や官職であらわされる人物が誰であるかをつかまねばなりません。そのためには文法や語法を理解しておく必要があります。文の組み立ての基本ルールである文法をしっかりと勉強しておいてください。古典語は現代語とは意味の異なる場合が多いのですが、基本の意味をよく理解しておけば、場面・文脈によって訳し方がおのずから異なってくるはずで、現代語に訳した場合、自然な表現になっているかにも注意してください。

「漢文」でも、語法の特徴をよく理解した上で、全体として何を言おうとしているかを読みとらねばなりません。部分的には意味が分かっても、文章全体の方向を読み違えると、結局全く理解できていないことになってしまいます。現代語に訳してみたときそれが不自然であれば、それは解釈が間違っているということです。全体を論理の通った文章として理解することに努めてください。

「古文」「漢文」については、知識を身につけることが重要です。文法も含め、暗記・記憶をおろそかにしないこと。漢文の語法や、和歌の約束事などをきちんと身につけ、時代背景も理解しておくことが大切です。

そして解答を書く文字は、読み間違えられることがないように丁寧に。皆さんの実力を伝えてください。

## 日本史

文学部

### 【出題のねらい】

原始・古代から近・現代に至る全時代を範囲として、政治・経済・文化など、できるだけ広い分野にわたって出題するようにしています。教科書に書かれているような事柄を中心に、その内容を的確に把握し、歴史の流れの中に位置づけて理解しているかどうかを重視しています。また、史資料をもとにして歴史を考えるとという視点から出題する場合があります。記述式の問題では、文章表現の的確さや論の進め方も評価の対象としています。

### 【受験生へのアドバイス】

特定の時代や分野に偏ることなく、日本史全体に広く目配りして勉強を進めることが大切です。歴史に関する知識は、用語を丸暗記することによってではなく、大きな流れの中で理解することによって深めることができます。歴史を単に与えられた事実の羅列として覚えるのではなく、因果関係や背景などを考えながら学ぶという態度が重要です。また、普段から正確な表記、的確な文章表現ができるように心がけてください。

## 世界史

文学部

世界史の問題は、教科書で学習した内容・範囲を基礎に、世界各地の歴史を古代から近現代にいたるまで、できるだけ偏りのないように出題しています。難問・奇問は出題しない方針ですので、語句の丸暗記にとどまらず、教科書の記述内容を納得のいくまでじっくり学習しておくことをお勧めします。

出題形式は、記述式と論述式を併用しています。記述式の問題に関しては、人物・事件・制度・年代などの諸事項について、総合的な歴史の流れのなかで、受験生がどこまで正確な基礎知識をもっているかを把握することを目的としています。したがって、人名・地名など固有名詞の漢字・カタカナ表記を正確に記述することはもとより、事件や制度を簡明に説明できるよう準備しておく必要があります。また論述式の問題は、特定の地域・時代に関する重要な事項について、その歴史的变化・推移に対する受験生の正確な理解度と適切な表現力をみることを目的としています。したがって、特定の歴史的イベント・事物・制度について、大局的な観点からその意義を問うことが多いので、関係する人物・年代についても整理し、要点をおさえて、筋道だった表現ができるよう学習しておくことが望まれます。

## 生 物

生命環境学部

生物・生物の全ての分野から出題します。細胞、植物、動物の生理や生態、遺伝に関する出題が主体となっています。

例年、教科書レベルの知識を問う基礎的な出題のほかに、図表で示されたデータの読み取りと解釈力を問う論述式の問題も出題します。前者においては、空所補充形式、短い記述式の出題形式をとります。

教科書や副読本をじっくりと学習し、単なる用語の暗記におわるのではなく、その意味やほかの用語との関連について理解しておくことで対応可能になります。後者のように実験データの図表による表示と読み取り能力・解釈力を問う設問では、図表によるデータの表示形式になれていることが必要であり、ことに計算も間違いなくできる様に練習が必要です。

図表の解釈をめぐる論述式の解答を要求することが多いので、短い文章で要点を的確に書けるように、特に出題の趣旨に応じたキーワードの選択と文章中への適切な配置が要求されます。論述式の解答能力は、理系においても大学進学後極めて重要視される能力ですので、その点に関する受験生の能力を見極めます。

## 化 学

生命環境学部

### 【出題方針】

平成20年度から農学部と人間環境学部は統合されて生命環境学部になりますが、物質を扱う学問である化学はすべての専門科目の重要な基礎となります。したがって、試験は高校化学の知識を試すための出題になり、問題はいずれも基本的な知識がしっかりと身につけていれば解答できるものです。

### 【出題内容と形式】

化学と化学の全範囲から、できるだけ偏らないように出題します。化学については選択内容を履修していない場合にも不利にならないよう配慮します。

問題はできる限り純粋に化学の範囲に限定して、生物や物理を履修しなかった受験生に不利にならないように心がけています。

知識の正確さを問うための選択問題や穴埋め問題、理論的な理解の深さと正確さを試す計算問題、考える力を試すための論述問題を取り混ぜています。また、グラフや実験装置の図を使った問題は知識の正確さと考える力を試すことができるため、しばしば出題されています。

### 【出題者からのコメント】

全範囲について基本的なことを確実に勉強しておくことが大切です。計算問題では公式に当てはめて機械的に計算・解答するのではなく、与えられた数字から何をどうやって導出するかを、順を追ってわかりやすく記述できるよう十分練習しておきましょう。教科書に出ているグラフは必ず頭に入れ、このパラメータを動かしたらグラフはどうなるのだろうか？という考えを巡らせることができるようにしましょう。そして何より、「計算力」と「グラフを読む力」をつけてください。論述問題では説明の要となる「キーワード」をまず考え、わかりやすく文章化する練習をしましょう。教科書に出ている実験装置の名称や使用法は必ず頭に入れましょう。発展内容や欄外のコラムにも目を通し、新聞の科学欄や科学雑誌、テレビの特集番組で最新の科学情報に目を向けるよう、日頃から心がけてください。

## 物 理

生命環境学部

### 【内容と形式】

教科書の基本的・標準的な内容を理解していれば大方解ける内容です。空欄を埋めるとか答えだけを求める問題は少なく、考え方を記述する問題が多くなっています。問題は小問に分けられており、基礎的知識を問う問題からやや考えさせる応用問題までを含んでいます。計算量が多い場合もあり、正確な計算力が求められます。

### 【出題者からのコメント】

基本的な内容をしっかり理解しておくことが大切です。基本的な知識を問う問題には間違えず答えられるように教科書を学習してください。応用問題では基礎的理解に加えて物理現象に対する理解度が問われます。

解答の考え方の部分はかなり丁寧に見ますので、解答者の考え方を、図などを用いて簡潔かつ的確に伝えられるような答案の書き方が出来るようにすることが望まれます。部分点も考慮するので粘りよく解答することが肝要です。

### 【出題方針】

基本的な知識を問う問題とその発展的・応用的な問題を適度にバランスさせて出題します。応用問題では物理現象を正しく理解していないと正解を得られないような問題を出題します。応用問題の出題水準は難問ではなく、標準的なものとしています。

## 数 学

生命環境学部

生命分子化学科、環境・情報科学科のみ

### 【内容と形式】

基本的な内容を十分理解しているかを試す問題を全範囲から出題します。教科書の内容を理解し、論理的な思考力があれば解けるようにしています。大問3～4題程度を出題します。解答の過程も採点対象とできるようにするため、すべて記述式の問題とします。

### 【出題者からのコメント】

計算量の多い問題などを通じて、基本的な事項に対する確実な理解がなされているかを試しています。また、場合分けが必要となる問題などを通じて、論理的思考力を試しています。

問題に対して完全には解答できていない場合には、答案の記述内容に応じて部分点をつけています。その際、意味不明の記述には部分点をつけられません。このため、記述式の問題の答案を丁寧に書く練習をしておくことが望まれます。答案の添削指導を受けることをお勧めします。

大問が複数の小問で構成されている場合には、各小問を解くことを通じて引き続く小問の解答ができやすいように誘導している場合があります。

### 【出題方針】

問題のレベルは教科書の章末問題程度か、それよりやや高めに設定しています。環境・情報科学科の場合、出題範囲の内、数学Ⅰ、数学Ⅱに該当する問題を適度に多めに  
出題する場合があります。

## 研究室へようこそ

### 財政学・環境経済学研究室

● 福祉社会学部 福祉社会学科 川勝 健志 准教授

私の研究室では、「地域から持続可能な社会を考える」ことこそ、人間生活の基盤である地域社会の将来像をデザインすることに他ならないという考えのもと、教育・研究に取り組んでいます。例えば、ゼミのテーマである「私たちがこころ豊かに暮らせるまちや地域とは何か。またその実現にはどうすればよいか」という問いを解く手がかりを与えてくれそうな文献をみんなで読み、徹底的に議論します。また実際に、自然環境や歴史的景観、伝統的な文化を活かしながら、地域経済の問題解決に取り組むまちや地域に足を運び、まちづくりとそれを支える地方財政の実態調査を行っています。文献で学んだ理論や政策は、まちや地域が衰退する原因をどこまで説明できているのか、現実の問題解決にどれだけ有効なのか、どこに限界があるのかといった点を検証することがねらいです。ゼミ生には、それらを通じて得られた知見を活かして、いま日本の各地域で起きている問題の原因を分析し、それを解決に導く政策を自ら提言できる力を身につけて欲しいと考えています。

私自身は、持続可能な地域づくりと地方環境税を中心とする税財政制度の設計問題や政策効果について研究しています。環境税とは、環境問題を引き起こす原因物質などに課税して環境負荷を抑制する政策手段という側面と環境保全対策に必要な経費の負担を原因者（受益者）からその寄与（受益）に応じて分け合う財源調達手段という側面をあわせもつ税です。簡単に言えば、その課税主体が地方自治体である場合、地方環境税ということになります。持続可能な地域社会を実現するには、税制上の明確なシグナルが発せられなければなりません。もちろん、それだけで実現できるわけではありませんが、特に租税システムに着目するのは、それが個人、家計や企業の行動様式を根底のところで規定する重要な社会基盤であると考えているからです。地方環境税について言えば、それが単に個別的な環境政策や一時的な財源調達のための税ではなく、持続可能な地域づくりを支える基盤、税源の一部を構成するものであることは、私自身が明らかにしているところです。とはいえ、地方環境税と持続可能な地域づくりとの関係性をめぐる研究は、理論的にも実証的にもまだ緒についたばかりです。解明しなければいけない問題が数多く残されています。地方環境税の可能性を探究する私の知的好奇心は今後も尽きそうにありません。



で規定する重要な社会基盤であると考えているからです。地方環境税について言えば、それが単に個別的な環境政策や一時的な財源調達のための税ではなく、持続可能な地域づくりを支える基盤、税源の一部を構成するものであることは、私自身が明らかにしているところです。とはいえ、地方環境税と持続可能な地域づくりとの関係性をめぐる研究は、理論的にも実証的にもまだ緒についたばかりです。解明しなければいけない問題が数多く残されています。地方環境税の可能性を探究する私の知的好奇心は今後も尽きそうにありません。

### 知能情報システム学研究室

● 人間環境学部 環境情報学科 吉富 康成 教授

「知能情報システム学研究室」のキーワードは、「知能」、「感情」、「意思」、「地球」、「情報システム」です。

私（吉富教授）、田伏准教授、共同研究員1名、院生8名、卒業生7名の計18名が本研究室に所属しています。そして、人工知能、画像情報処理、数理計画、認知科学などの基礎研究を行い、ヒューマンインタフェース、意志決定支援システム、ロボット、情報セキュリティ、福祉情報システム、地球温暖化防止のための数理計画などへの応用研究を進めています。

本研究室の特徴の1つは、温度画像を表情や感情の認識に用いていることです。「喜び」の温度画像をご覧ください。本研究室が開発した手法で、顔温度画像から、「喜び」、「悲しみ」、「驚き」、「怒り」、「無表情」を90%程度認識できます。昼夜問わず用いることができるので、介護ロボットなどへの応用が期待できます。温度分布の変化から感情や表情をコンピュータで認識できます。

私は、情報科学分野では、人間とコンピュータの「話し合い」を実現する新しい仕組みが必要だと考えています。このため、人の心を理解し、意志決定を助けてくれるコンピュータの実現を目指して研究しています。田伏准教授は、人間のように柔軟で自ら学び賢くなるコンピュータの実現を目指して、生物の進化や適応能力をコンピュータや自律ロボットへ応用する研究をしています。そして、「自分で感動できなければ、人を感動させられないので、院生や卒業生の研究テーマについては、本人の希望をできるだけかなえる方針」で研究室を運営しているためか、皆さん研究を楽しんでいるようです。

「楽しい」が力の源泉です。そして、信じる道を見つけるためには、経験と努力が必要です。来年度生まれ変わる「環境・情報科学科」は、あなたの信じる道を見つける場を提供します。『サイエンスを知る「視野の広い理系スペシャリスト」への道』をともに歩みましょう。



## 在学生の声

文学部  
史学科4回生  
K.I.

私は大学で歴史の勉強をしたいと思い、大学を探しているときに京都府立大学に出会いました。立地条件の良さ、アットホームな雰囲気、京都という土地柄に惹かれて志望しました。実際入学してからも生徒間や師との距離も近く、疑問点があればすぐに聞けるので学習もはかどります。また賀茂川の桜など自然も美しく、京都のよさを感じられると思います。

史学科では主に、日本史、東洋史、西洋史を学ぶことができます。西洋史志望でも日本史、東洋史の授業を取ることができます。どんどん興味を持った授業を取ることができるのも良い点だと思います。私は西洋史で卒業論文の作成に取り組んでいますが、先生方からのしっかりしたサポートがあるため安心して研究に取り組めます。歴史を研究するにはもってこいの環境だと思うので、本気で歴史を勉強してみたい、という方にはこの京都府立大学はおすすめできます。

福祉社会学部  
福祉社会学科3回生  
H.T.

僕は新しく公共政策学部になる福祉社会学部に所属しています。

この学部では、福祉だけでなく、法学、経済学、教育学、社会学、心理学など、とても幅広い学問を学ぶことができます。そのため、福祉に携わる仕事や公務員に就職したい人、社会福祉士や教員、認定心理士といった資格を取得したい人など、色々な目標を持つ学生が集まっています。

本学部では1回生時からゼミが開講されており、たくさんの方の考えを聞き、意見交換をすることができますので、自分の視野がとても広がります。また、学生数が少なく、学生と先生の距離が近いので、とてもアットホームな雰囲気の中で勉強することができます。学生同士も仲良くなりやすく、僕は学部の仲間です。サークルを作り、和気あいあいと活動し、充実した生活を送っています。

新しい公共政策学部でも、この環境は変わらないと思います。この素晴らしい環境の中で、有意義な学生生活を過ごして下さい。

人間環境学部  
環境デザイン学科  
住環境学専攻4回生  
Y.E.

「小さくて地味な大学」私は府大を説明する時、いつもこう言います。学生数が少ないため、他学部でも顔見知り。自然に囲まれてひっそりとしたキャンパス。手作り感あふれるイベント行事。猫がお昼寝しているボックス街。こんなんびりとした雰囲気が私は大好きです。

環境デザイン学科では主に建築を学ぶのですが、他大学と違って人間の健康や自然環境の視点から建築を考えることができます。また、プロダクトデザインやランドスケープも学べるので、好奇心がおうせいの人にはおすすめの学科です。ゼミは少人数制なので、しっかりと研究に取り組むことができます。

府大は小規模だからこそ、魅力にあふれた大学です。ゆったりとした空気が漂うキャンパスで、自分の興味を深めてください。

農学部  
生物資源化学科4回生  
S.H.

遺伝子とは何か？活性酸素とは何か？癌細胞とは何か？なぜカロリーの高いものを食べると太るのか？

私たちの学科では、生体の機能や生命現象を、化学的な観点から分子レベルで勉強します。上に書いたようなよく耳にする言葉や当たり前と思っていた現象について、以前私は疑問を持ったことさえありませんでした。しかし、授業を通して新しいことを知るほど、生体内メカニズムの完璧さに感動し、身の回りの現象や物質に対して疑問を持って理論的に考える力がついたと実感しています。勉強に限らず、自分の知らない世界へと踏み出すには何事にも疑問を持ち、チャレンジすることが大切だと思います。

京都府立大学は学生の人数が少ない分、様々なチャレンジにめぐり合う確率が高いのではないのでしょうか。勉強、部活、実験、そして自分の好きなこと探しと思いつき欲張ってもいいと思います。一分一秒でも無駄にしないという気持ちを持って、これからの人生を決める大切な4年間を、忙しくて素敵なものにして下さい。

# 気になる経済生活について

## 府大生に聞きました

(グラフ：平成17年度 京都府立大学学生生活実態調査より)

### 自宅生の場合

日常生活でお金の必要になる事としては、講義のテキストや参考書といった本代、部活動で使うお金、通学時の交通費、授業料等があります。この内、交通費は自転車通学なので必要なく、授業料や本代も親に払ってもらっているので掛かりません。他のものも親に払ってもらっていますが、一応月に1~2万円に抑えるようにしています。  
(文学部 史学科 3回生)

私の場合、アルバイトが週払いなのでお金の収支は月単位でおおまかな予定をたてたあと、週ごとに細かく配分を決めています。

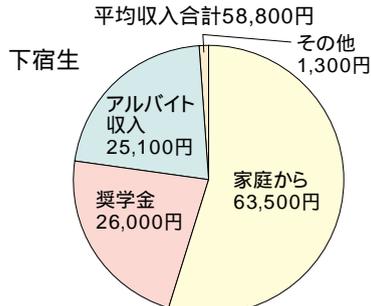
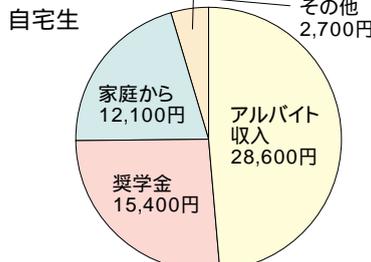
実家暮らしなので収入が少なかつたときなどはなるべく家で食事をするようにしたり、お弁当や時間がないときはおにぎりだけでも持って行くようにすることで調節しています。月平均4万円くらい使っています。  
(人間環境学部 食保健学科 4回生)

### アルバイトについて

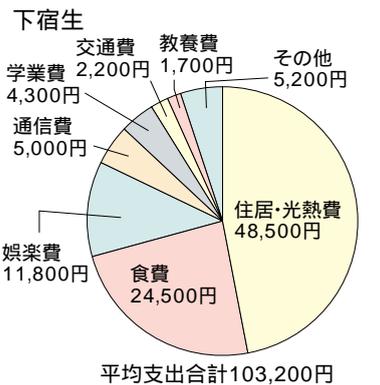
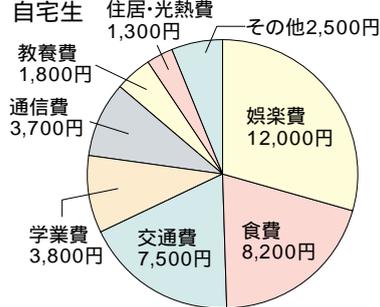
バイトが忙しいとお金を使う暇もなくお金も出ていきませんが、逆にバイトが少なくて収入が少ないときにかぎって、お金が出ていく傾向があります。バイトを入れるのは週に何回までと決めておかないと、それ以上になると大学の勉強とのバランスが崩れます。  
(福祉社会学部 福祉社会学科 3回生)

アルバイトは学業とはまた違った経験を与えてくれるもので、出来れば一度は体験して欲しいものです。アルバイト先では必ず、気遣いが大切になって来ます。自分の気持ちと相反することをしなければならぬ場合もあり、これらは今後社会で生きていく為には必要不可欠になってくることでしょう。ただ学業が疎かになってはいけませんので、アルバイトに追われることは避けたいところです。  
(農学部 森林科学科 4回生)

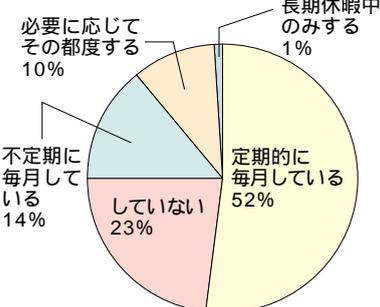
Q 1か月の平均収入とその内訳は？



Q 1か月の平均支出とその内訳は？



Q アルバイトをしていますか？



### 下宿生の場合

全般的にお金に困ることになるのは食費の関連が多いです。サークル活動などで他の人の都合にあわせていると、外食費があつというまに増えてしまいます。ピンチになったら自炊することになります。難しいことですが、計画性をもつことが何よりも重要です。  
(福祉社会学部 福祉社会学科 3回生)

一ヶ月の収入は奨学金が5万円と週2回程度のアルバイト代が2.3万円程度、実家からの仕送りが3万円です。2回生からは学務課に斡旋してもらった格安の下宿に住んでいますが、クラブの合宿、その他活動で万単位の費用がかかるので、常に節約を心がけています。  
(農学部 生物生産科学科 4回生)

### 学業費以外の支出は

下宿代以外に授業の実習費や部活の部費が毎月かかります。他は食費と交際費で、全体で4万円くらいですが、食費を抑えるために昼食は家からご飯を持っていったり、夕食は自炊するよう心がけています。それ以外のあまったお金を交際費や洋服代に使っています。  
(人間環境学部 食保健学科 4回生)

下宿の場合、家賃や光熱費を差し引いて考えれば、まず挙げられる出費は食費です。私は生活費の三分の一程度を食費に使っています。他に、友達との交際や娯楽、サークルで行われる催しなどにも生活費を割り当てています。あとは洋服や雑誌、CDなど、細々した物をたまに買っています。  
(文学部 国際文化学科 2回生)

府大の経済上のサポートについて、経済的理由により修学が困難な学生に対して、日本学生支援機構等の奨学金制度や本学独自の授業料減免制度があります。下宿・およびアルバイトの紹介を行っています。

## クラブ・サークル紹介

### s 森なかま

森なかまは平成14年に本学に発足したサークルです。本学の森林科学科には森林に興味を持った学生がたくさんいますが、講義の中で実際に森林に触れる機会は多くはありません。また、本学には附属演習林がありますが、森なかまが発足するまでの演習林は主に研究のための利用が中心で1~3回生が演習林を利用する機会はほとんどありませんでした。自分たちの大学の演習林を森林・林業を体験・学習する場として利用したいという強い思いが「森なかま」発足の原動力であり、当時から変わらないスローガン「森への関心・理解を深め、京都府立大学を日本一森林に関心を持っている学生が多い大学にする」のもと、現在も活動しています。



森なかまの活動は本学演習林を中心とした山林作業や、間伐材を利用した木工作業、様々なテーマの勉強会、見学会、自然観察会、さらには学外でのイベントへの参加など、とても幅広いものです。また近年では学内提案公募型事業の一環として、緑が多いことから「緑風学舎」と呼ばれる本学キャンパスの樹木マップ「校内樹木冊子」を作成して学内に配布したり、森林の数十年後の姿を想像し、長期的な視野を持って施業計画を立て、施業の効果を経年的に観察していこうという考えのもと、本学大枝演習林において「森なかまの森づくり」計画を進めたりしています。

今年で約5年となるこれらの活動が認められ、森なかまは第19回森林レクリエーション地域美化活動コンクールにおいて、全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しました。今まで森なかまをつくり、支えてくださった先輩方の思いと、その先輩方から知識や技術を受け継いで活動している現在のメンバーの思いが実を結んだのだと大変うれしく思っています。これを機会に森なかまの存在を多くの方々に知ってもらい、意見交換をしたり、共に活動する中で、少しでも森林の大切さについて考えてもらえれば幸いです。そして今年も森なかまは学部・学科を問わず、たくさんの「なかま」を募集しています。少しでも興味のある方はぜひ一度森なかまの活動に参加してみてください。いっしょに活動していく中で、きっとすばらしい「なかま」に出会えるはずです。

(文： T. N. 森なかま 副代表／農学部森林科学科 3回生)

### s アメリカンフットボール部

みなさんこんにちは。僕は今、京都府立大学体育会アメリカンフットボール部“Wyverns”に所属しています。ところで、みなさんは「アメリカンフットボール」というスポーツをご存知ですか？日本では、まだまだなじみのないスポーツなので知らない方も多いかもしれません。ですが、本場アメリカでは、4大スポーツの中で最も人気のあるスポーツとされ、その迫力や頭脳を駆使した戦術に老若男女を問わず多くの人々が熱狂するのです。

さて、僕たち“Wyverns”ですが、現在、関西学生リーグ3部に所属しており、2部昇格を目指して練習に励んでいます。人数は、プレーヤー27人、マネージャー16人、計43人と府大体育会クラブとしては最大規模を誇ります。なぜこ



んなにも多くの学生がアメフト部に入部するのか、それは、おそらく“Wyverns”が学内一雰囲気の良いクラブだからです。実際、僕が入部したのも、先輩方やOBさん・OGさんの人柄や、明るく活気に満ちた部内の雰囲気に惹かれたからです。もちろん、体育会のクラブなので楽しいことばかりではありません。先にも述べましたが、2部昇格を目指しているチームなので、練習がハードだったり、深夜まで敵チームの分析をしたり、あるいは、何か壁にぶつかったりすることもあります。それでも4年間へこたれずに続けてこれたのは、信頼できる仲間たちがいたからです。一緒に戦ってきた仲間、これは思った以上にすごいですよ。きっと、これからもずっと最高の友であり続けるでしょう。

願わくば、みなさんにも大学生活で一生の友人・仲間ができますように。そのためにもクラブやサークルにはぜひ入ってください。特にうちはオススメです。

大学という新たな環境の下で、さらに知らない所に飛び込んでいく、これは、とても勇気のいることだと思います。でも怖がらないで1歩踏み出してみてください。そうすれば、きっとすばらしい仲間と、充実した大学生活が待っているはずです。

(文： T. S. アメリカンフットボール部 主将／文学部文学科国文学・中国文学専攻 4回生)

## 就職支援活動紹介

学務課学生係

就職状況が好転し、売り手市場といわれる中で、なぜ就職活動をサポートしなければならないのか、不思議に思われる向きもあるかも知れません。求人倍率の数字は、選り好みをしなければ必ず就職できる水準にあります。数年前の就職氷河期が地獄とすれば、今は天国です。卒業年によって、大きな差が生じています。せっかくのチャンスを生かしてほしいものです。

「幸運は心構えのできた精神に味方する」

ルイ・パスツール(細菌学者)

売り手市場でも、就職活動は必要です。油断しては、納得のいく結果を得ることはできません。では就職活動、どのようにすれば良いのでしょうか。学生部では、就職希望者が考えるための材料などを提供しています。

今年度も学部3年生・大学院1年生対象の「就職講座」を開催します。夏休み直前の8月7日(火)オリエンテーションを皮切りに、10月以降毎週木曜日、10回程度行います。

昨年度の内容は、右表のとおりです。この講座を通して、就職活動についての心構えを少しずつ固めていくこととなります。

就職活動についての疑問や悩みは、就職担当教員や学生係の就職担当がお聞きしています。また、毎週火曜日には、就職相談員による相談(要予約)も受けられます。

就職活動を経験した学生さんたちの成長ぶりには、いつも驚かされます。今年度も期待しています。

### 平成18年度に行った就職講座

月 日	内 容
8/4	オリエンテーション 講演「自分エンジンを探せ!～今から始める就職活動～」 講師:キャリアコンサルタント 本田勝裕氏
10/5	講演「インターネット活用法」 講師:(株)毎日コミュニケーションズ
10/12	講演「就職に失敗しないための情報収集術」 講師:(株)日本経済新聞社
10/19	就職模擬試験(就職常識試験) (株)学研メディコン
10/26	講演「エントリーシート・履歴書の書き方」 講師:(株)ディスコ エントリーシート模擬試験 (株)学研メディコン
11/2	適職診断テスト R-CAP
11/9	業界研究の進め方 講師:(株)学情
11/16	福祉の仕事ガイダンス 講師:京都府福祉人材・研修センター
11/16 17	企業研究セミナー in 京都府立大学 業界を代表する企業24社(12社ずつ2日間)
11/30	就職活動体験報告会 報告者:就職内定を得た4回生
12/7	マナー講座 講師:山本清美氏
12/14	R-CAP 就活バックアップセミナー 講師:(株)リアセック
12/14	面接について 講師:人事コンサルタント 石田秀朗氏
12/21	就職活動直前対策セミナー 講師:キャリアコンサルタント 佐野智世氏



### 主な就職先(平成19年3月卒業生)

国華園、積水ハウス、住友林業、大和ハウス、朝日ウッドテック、一保堂茶舗、山崎製パン、ミツカン、中外製薬、杏林製薬、スズケン、イズミヤ、高島屋、千趣会、ブックオフ、ワタミ、京都新聞社、日本食品分析センター、野村證券、京都銀行、京都信用金庫、JA京都、京都府庁、社会福祉法人、学校栄養職員、家裁調査官補

## 卒業生の声

### 「自信」をくれた場所

文学部文学科西洋文学専攻 平成18年3月卒業 M. T.  
(追手門学院高校勤務)

京都府立大学を卒業して2年が経ちます。今でも恩師や、4年間所属していたクラブの後輩たちに会いに大学に行くことがあります。京都府立大学はいつ行っても変わることはない、私の大切な場所になっています。

私は今、小学生の時から夢だった教師をしています。日々生徒たちが成長していくことを感じ、それと同時に生徒たちからたくさんのことを教えてもらっています。教師という職業は毎日様々なことを要求され、教壇に立てば新人とベテランの区別もありません。生徒から見れば誰でも同じ教師です。芯のある教師、それは私が目指している教師です。そのために心掛けていることが一つあります。それは、生徒たちに自信をつけさせていくことです。教師になったばかりの頃、目標を持って頑張っている生徒たちの少なさにとても驚きました。自分が将来何をやりたいのかも分からず、どうして勉強をしなければいけないのかと考えている生徒さえいました。

そのような生徒たちと接していて、その生徒たちは自分に「自信」がないということが分かってきました。自信が無いため、すぐにあきらめてやらなくなってしまう。私が大学生の頃、所属していたクラブ活動を続けて行く自信を完全に失くし、途中でやめようとしたことがありました。その時、友人や先輩、後輩が正面から私と向かい合ってくれました。私を信用してくれていたから、真剣に励ましたり、怒ったりしてくれた人たちを見て、自分の居場所を見つけることができました。そして同時に、今の自分を支えている自信をもつことができ、何事にも積極的に取り組むことができました。

生徒が自信を持てるように動機付けをする際、私が自信を持つことができた時と同じように、真剣に生徒と向き合うことをとても大切にしています。生徒が成長できる環境をつくるのが教師としての仕事だと思っています。京都府立大学の恩師も一番そのことを考えてくれていました。私に自信を与えてくれた京都府立大学はこれからも大切にしていきたい場所になっています。「自信」とは「自分を信じること」、これからも生徒に伝えていきたいと思っています。

### 人をもてなす仕事

福祉社会学部福祉社会学科 平成16年3月卒業 Y. M.

私は大学在学中、ボランティアなどを通して、児童、障害者、高齢者全ての分野に携わり、改めて「人に何かをしてさしあげたい」という気持ちが人一倍強いことを自覚しました。そして、卒業後は、4年間学んだ福祉を自分が関心のあるサービス業で活かされたいと考え、ホテルに入社しました。入社後厳しい研修を経て、営業課に配属になりました。お客様をもてなすプロのサービスをとことん習得することができ、また、営業においてはビジネスの基本が身につきました。

が、もっと人と近い距離で長期的に関わりたい、人の毎日の生活に密着した仕事がしたいと思うようになりました。ホテルで学んだ人をもてなす所作を、今度は福祉の現場で活かしたいという気持ちになったのです。福祉もサービス業の一つです。ホテルも特養も生活の場。参考にできるところはあらずだと考えたのです。

そして私は今、特別養護老人ホームで介護士として働いています。私は介護士は「何でも屋さん」だと思っています。介護全般を請け負うことはもちろんですが、時には、マッサージ師、コック、ピアノの先生、ヘアメイクさん…介護士は利用者さんの生活全般をサポートする役割を果たしています。それだけ、利用者さんに一番近い存在であるため、介護士はたくさんものを受け取ります。どんな辛いことも帳消しになるような笑顔や、嬉しい、楽しいなどという感情を日々の何気ない生活の中から肌で感じることができます。利用者さんと心が通じ合える瞬間。この瞬間に出会うたび、この仕事をしていて、この利用者さんに出会えて本当に良かったと心から思えるのです。これほどまでに「人間」と深く関われる仕事は無いと思います。

これからも常に温かい気持ちを持ち続け、利用者さんに快適な生活を提供できるよう、日々努力していきたいと思っています。

## 自ら学び考えることの楽しさを

人間環境科学研究科 生活環境科学専攻

平成16年3月 博士後期課程修了 T. S.

(佐賀大学 文化教育学部 准教授)

私が京都府立大学の住居学科に入学したのは約20年前です。

同学科は30人弱の小さな学科で学生同士の結束が強く、また住宅・建築に関心のある学生が集まっていたため、毎日が刺激的で充実した時間を過ごすことができました。

学部では住居や住生活などについて幅広く学びましたが、住まいを作り手の立場のみではなく、住まい手の立場から考えることに重点が置かれていました。すなわち、住宅の設計・施工の知識を習得するだけでなく、「本当によい住宅とは何か？」を住む人の立場から考える姿勢を学んだといえます。ここで身に付けた「住まい手の視点で住宅を考える姿勢」は後に住宅メーカーで働く際に大きな助けになりました。

学部卒業後は大学院修士課程に進学しました。そこではより専門的な教育を受けることで、学部時代に形成された問題意識を研究として深化させることができました。院生の期間は自分の好きな研究に全ての時間を注ぎ込むことができる人生唯一の期間です。その貴重な期間を過ごすのに、学生の自主性を尊重しながらも先生方が親身になって指導して下さる本学の大学院は最適な環境だったと思います。

修士課程修了後は大手住宅メーカーに就職し、自分の専門である住宅の温熱環境に関する研究・開発—冬暖かく、夏涼しい快適な家を作る—業務に携わり、ここでも充実した毎日を過ごしました。平成17年に十年余り勤務した会社を退職して現職に就きましたが、きっかけは平成13年に新設された本学の人間環境科学研究科博士後期過程で博士号を取得したことです。仕事をしながらの博士号取得は大変でしたが、修士以来遠ざかっていた「学問に打ち込むことの楽しさ」を思い出し、大学教員への転職を決意しました。

現在、佐賀大学では住居学を教えながら、佐賀の気候風土に適した住まいのありかたについて研究しています。京府大で教えてもらった自ら学び考えることの楽しさをこちらの学生に伝えていきたいと考えています。

## 何か一つ、武器を作って磨こう

農学研究科 生物機能学専攻

平成19年3月 博士前期課程修了 Y. K.

マイペースで非常に充実した学生生活でした。就活等のこちらの都合で実験のスケジュールを組んでも、それに合わせて懇切丁寧な指導をしていただきました。課外活動では、ギターマンドリンクラブに所属し、楽器を弾かない日は全くとっていいほどありませんでした。

平成19年3月初旬にロッコーマン株式会社（神戸）に入社し、アコースティックギターやバイオリン、マンドリン、その弦、ケース等の卸売・営業をしています。ここへの就職を希望したのは、クラブや社会人楽団で弦楽器とその音楽に夢中になり、卒論と修論で木材の音響に関する研究をしたこと、さらにこの会社で専門に取り扱うギターのブランド（工房は久留米）があることから、大学で得たものを楽器製作や材料調達に活かしたいと考えたからでした。入社以来、放任ながらも実績が求められるので悪戦苦闘の毎日です。初めて触れる楽器ばかりで、その長所・短所はろくにわかりませんし、工房で材料を選別しても、それが製品になったときに素直に売れるものなのかどうか全くわかりません。今までの一番の実績は何かと訊かれると、本社の看板である巨大ギターオブジェを一人で素早く修繕したこと、と答えますね…。まだ担当している取引先も少なく営業の経験も浅いので、まずは先輩方と工房のクラフトマン、取引先の担当さん、そしてユーザーの方々の話をよく聞き、楽器の構造や音色を調べ、各商品の特徴を捉えたいです。そしてそこに自分の武器である木材の音響特性に関する知識を織り交ぜ、磨き上げ、実績を積んでいきたいと思います。実際、取引先の担当さんに木材音響や木材の組織・構造の話をするとかなりウケがいいので、各楽器の仕様や音質と結びつけて話せたら売上が上がるかもしれません。10年後以降の目標は、自分で企画した楽器が取引先の店頭に並び、多くのユーザーの方に修理しながら壊れるまでずっと使ってもらえることと、木材生産の場でもある森林の保全に間接的にでも貢献することです。

今も週末は社会人楽団の活動に参加しています。楽器を売るのが仕事、演奏するのが趣味、というようにはっきり区別できているので、リフレッシュすることができます。

## 追悼 京都府立大学 元学長 門脇禎二先生



### <門脇先生のご経歴>

大正14年生まれ。京都大学文学部史学科卒業・京都大学大学院修了。

京都大学文学部助手、奈良女子大学文学部講師・同助教授・教授、京都府立大学文学部教授・同文学部長を経て京都府立大学学長（昭和61年9月～平成4年8月）、京都橘女子大学文学部教授を経て京都橘女子大学学長（平成7年4月～12年3月）、京都府立大学・京都橘大学名誉教授（文学博士 日本古代史専攻）

### 門脇禎二先生のご逝去を悼む

文学部 史学科 水本 邦彦 教授

去る6月12日、名誉教授で元学長の門脇禎二先生がお亡くなりになりました。享年81歳でした。深く哀悼の意を表します。

先生は1975年（昭和50）10月に奈良女子大学から本学に転任してこられました。1925年（大正14）のお生まれでしたから、ちょうど50歳を迎えられる年でした。以後、文学部史学科の教授として多くの人材を育てられるかたわら、文学部長・附属図書館長の要職を歴任されました。また、1986年（昭和61）からは第8代学長として大学運営の総責任者という重責を担われ、1992年（平成4）8月の退職まで府大の大学としての質の向上に大きく貢献されました。

この間、ご専門の日本古代史の分野においても、じつに精力的に研究を進められ、主なご著書に限っても単著9冊、編著・共著9冊の刊行という驚異的なお仕事振りでした。

学術的な地域貢献のモデルとなる「丹後王国論」を提唱されたのも、府大在職中のことでした。1983年（昭和58）3月発行の府立大学『丹後半島学術調査報告』巻頭には、その出発点となった「丹後王国論序説」が掲載されています。『木津町史』や『精華町史』『けいはんな風土記』など南山城の自治体史や地域史も、先生の巧みなリードによって完成したものでした。公立大学の今後を考えるヒントが満載された『折々の記－学長の日々に－』（1992年）は、府立大学にとってかけがえのない財産です。

同じ職場で先生とご一緒できた私たちは幸せでした。私自身、研究者の生き方、会議の進め方からお酒の飲み方に至るまで、数え切れない沢山のことを教えていただきました。

先生、本当に有難うございました。どうぞ、ごゆっくりお休み下さい。合掌

### 門脇禎二先生から学んだこと

文学部 史学科 榎木 謙周 教授

門脇禎二先生の訃報に接して真っ先に私の脳裏に浮かんだのは、大学院に入った前後のことです。日本史研究会という在野の学会に参加するようになり、その庶務委員を務めることになった折、先生は代表委員をされていましたが、雑務の多いこの仕事にいろいろと気がつかってくださったことを思い出します。

研究面でも古代史部会などで教えられたことは多いですが、研究姿勢を重視され、研究史・史学史に学ぶことの重要性を説いておられたことが印象に残っています。これまでの大化改新像が古代国家と近代国家のイデオロギーによって構築されてきたことを明らかにし、その根底的な批判を通じて7世紀の政治過程を再構成するという「大化改新論批判」は、まさにこのような研究史の深い読み込みによって可能になったものです。先生のいま一つの重要な研究テーマである地域国家論も、中央の支配者の視点で書かれていることの多い古代の史料を批判的に読み込みつつ、考古学の成果も吸収して生み出されたもので、これまでヤマト中心に構築されてきた古代国家成立論を根底から覆すものでした。いずれの研究も従来の常識を破るものでしたので、激しい論戦が行われましたが、今後も古代史研究の根幹に関わる大きな課題として議論され続けるでしょう。

御著作には広い読者を対象としたものが多数ありますが、いずれも学問的な手続きを踏まえた高度な内容であり、叙述のスタイルという点からも学ぶべきところが大きいといえます。多くの自治体史の編纂に関わられたのも、歴史学が地域住民の立場に立ったものであるべきであるということをもっと実践されたことによると思います。地域社会における学問のあり方というテーマは、京都府立大学にとっても重要な課題ですが、先生の研究姿勢は後進の私たちにあって導きの糸となるでしょう。謹んで御冥福をお祈り致します。

## ●● 教員奮闘記

### ある授業中毒者(?)の告白

文学部文学科西洋文学専攻 金澤 哲 准教授

大学教師には、大雑把に言って三種類ある。A型は研究センターで、とにかくよく勉強し、研究している先生たち。このタイプが一番大学の先生ばい。

B型はひょっとすると高校の先生の方が向いていたかもしれない人たちで、とにかく授業が好き、学生と話すのが大好きというタイプ。京都府立大学には、異常にこのタイプが多い(C型はスペースの都合で省略。)



かくいう自分は、まぎれもないB型で、授業が好きでたまらない。もうほとんど中毒である。だから当然忙しいが、そんなの全然苦にならないのが、このタイプの特徴である。

今年はまず「アメリカ文学史」にハマってしまった。この授業のため毎週一日半ほどかけ、100ページほど英語を読み、インターネットで画像を収集し、パワーポイントの準備をする。90分授業のために10時間はかけているが、これが楽しくてたまらない。授業ではしゃべりたいことがありすぎて、全然時間が足りない。おまけにこっちがこんなにガンバってるんだから、みんなも頑張るってねということで、たっぷり課題図書指定したら、みんなどんどん読んできて、読書ノートを出してくる。積み上げられたノートを読んでいると、もう自爆状態で、まさに教師冥利、本望そのものである。

もうひとつ、幸せを実感するのがTOEICの学内試験である。去年思い切って始めたら、今年はしっかり定着し、全学部学科の学生が受けてくれる。スコアを取りに来る学生たちにアドバイスしたり、賞めたり励ましたりと、実に楽しい。まるで全員教え子になったようで、これまた教師冥利に尽きる。

その他、ゼミで一緒に議論したり、講義で挑発したり、思いきり本音をぶついたり、とにかく授業は楽しくてたまらない。かくして私は授業中毒。今日も必死に準備をし、教室に行ったら、しゃべりすぎるのである。それではみなさん、次の授業でお会いしましょう……

### 編集後記

広報委員長 大谷 貴美子

平成20年度より、大きく変わろうとしている府立大学ですが、申請手続きの関係で、今年のオープンキャンパスには例年発行しているキャンパスガイドが間に合わないというなかでの、入試特集号の発行となりました。受験生にとっては、貴重な入試情報となる今回の広報。昨年度より、広報は大きく刷新され、年3回の発行となっておりますが、今年度は、改革という大きなうねりの中で、受験生の不安を和らげ、かつ京都府立大学の魅力をどのように伝えるのか、広報誌の果たす役割が例年になく大きいことを感じつつ編集を行いました。

広報委員会は、大学の外に向けて積極的に情報を発信していくことを使命として、今後も引き続き広報誌の編集にあたってまいります。委員一同、大学の内外を問わず、多くの方々から読後の感想や意見をお寄せくださるようお願いしております。

11月発行予定の次号では、産学公連携に関する記事を集める予定です。ご期待ください。

また、今回の入試特集号編集中には、本学の元学長で名誉教授の門脇禎二先生がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。